

科目名	現代政治学特殊研究	担当者	アオキ 青木 カズヨシ 一能	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	-------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>とくに冷戦が終結以降、情報通信、運輸技術の革命的発展と相俟って、世界はグローバリゼーションと呼ばれる時代状況に向かった。国家間の稠密なネットワークが形成される一方、従前の国家の枠組や機能が市場競争主義の下で変質してきている。まさに「国家の揺らぎ」現象が窺えるが、それは同時に市民社会、そして政治の在り方も変化させていくことになる。</p> <p>そこで本特殊研究では、まずグローバリゼーションによって生ずる様々な状況を捉え、とりわけ「負」の側面への対応を検討するものとする。その上で、適切な対応を図るための政治の在り方を検討する。すなわち、経済の統合を促すグローバリゼーションの下で、そこで生ずる様々な問題の解決は従前以上に政治にかせられた課題になっている。それら政治の動向と問題を究明することを目的とする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローバリゼーションのもたらす様々な経済社会動向を把握し、その将来的展望を含めて自らの認識と見解を持つこと。</li> <li>2. とくにグローバリゼーションがもたらす「負」の側面を考察し、それらへの政治的対応策について国内および国際的な両次元から検討する。</li> <li>3. その延長線上において、今後の中・長期的な国及び世界の将来展望を描いていくこと、さらには新たな時代状況における民主主義体制の在り方を把握する。</li> </ol>		
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教材図書をまず読解し、そこで生ずる疑問や意見を更なる資料や情報を通して処理していくことが望まれる。</li> <li>2. グローバリゼーションに関わる情報・資料は近年枚挙に暇がないほど社会に出回っており、可能な限りそれらを読破することで重層的に考察すること。</li> <li>3. その過程において、教員との活発な意見交換を行うことが望まれるし、それはまた受講上の必要条件であること。</li> </ol>		
スケジュール	<p>前・後期共に最終提出期限の少なくとも1ヶ月前には1回目の草稿レポートを出して欲しい。無論、その前段において、それまで受講生が収集した情報・資料などを基にした意見・認識をメールなどを通じて教員に提示し、意見交換やアドバイスを受けて欲しい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	レポートの内容に可能な限り自らの見解を盛り込んでいるかを評価の重要なポイントとしたい。
	平常評価	30%	レポート作成に至る過程での意見交換の内容やその情報収集量などを総合的に判断する。
履修者への要望	<p>今回提示した教材はグローバリゼーションがもたらす危機的側面を主に扱っているが、それを肯定的に捉える必要はなく、自らの見解を持てる、あるいは打ち出せることが望まれる。現在、動的に進行する状況を対象とするだけに日々変化する事柄に常に注意を払い、鋭敏な感覚で物事を捉える努力を払って欲しい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： 青木一能編            教材名： 『グローバリゼーションの危機管理論』（芦書房，2006年）            ISBN:978-4-75-561194-0 2,000円+税</p> <p>本書は日本大学学長指定研究の一環として出版されたもので、グローバリゼーションを様々な角度から考察している。一種の学際的アプローチに基づく書であるが、そこで全てが言及されているわけではなく、各々の筆者の見解が統一されたものでもない。あくまでも受講生のアプローチを補完するもので、既述のごとく、その他に多くの文献や情報に接することが望まれる。</p>
参考図書	<p>関連する文献は大量にある昨今、可能な限り受講生諸君の情報収集能力を發揮して欲しい。具体的には教材の各章で挙げられている参照、引用文献などを直接的にアプローチすることは必要かも知れない。</p> <p>例えば、D. ヘルド他『グローバル化と反グローバル化』（日本経済評論，2003年）            ISBN:978-4-81-881554-4            T. フリードマン『レクサスとオリーブの木』（草思社，2000年）            上 ISBN:978-4-79-420946-7/下 ISBN:978-4-79-420947-4            J. S. ナイ他『グローバル化で世界はどう変わるか』（英治出版，2004年）            ISBN:978-4-90-123451-1 3,400円+税 など</p>
履修上のポイント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローバリゼーションなるものの実態を的確に把握する。</li> <li>2. そこで生ずる正負両面の現象を把握する。</li> <li>3. 特に負の側面に関する政治的対応について検討する。</li> </ol>
レポート課題 1	<p>教材（全13章）のうちから前半部の6章までのなかで重視する分野あるいはポイントを抽出し、それに関する自己の見解を交えてレポートを作成する。  <b>留意点</b>：各章において不足すると思われる点については自らの情報で補強補完し、その出所情報を明記する。</p>
レポート課題 2	<p>課題1で取り上げなかった分野を選択し、それを課題1と同様に自己の見解を明確にしつつレポートをまとめてほしい。  <b>留意点</b>：課題1と同様</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： 青木一能編            教材名： 『グローバリゼーションの危機管理論』（芦書房，2006年） ISBN:978-4-75-561194-0            2,000円+税</p> <p>本書は日本大学学長指定研究の一環として出版されたもので、グローバリゼーションを様々な角度から考察している。一種の学際的アプローチを意図したものだが、そこで全てが言及されているわけではないし、多くの筆者の見解が統一されたものでもない。あくまでも受講生のアプローチの一助になるためのもので、既述のごとく、その他に多くの文献や情報に接することが望まれる。</p>
参考図書	<p>例えば、D. ヘルド他『グローバル化と反グローバル化』（日本経済評論，2003年）            ISBN:978-4-81-881554-4            T. フリードマン『レクサスとオリーブの木』（草思社，2000年）            上 ISBN:978-4-79-420946-7/下 ISBN:978-4-79-420947-4            J. S. ナイ他『グローバル化で世界はどう変わるか』（英治出版，2004年）            ISBN:978-4-90-123451-1 3,400円+税 など</p>
履修上のポイント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローバリゼーションなるものの実態を的確に把握する。</li> <li>2. そこで生ずる正負両面の現象を把握する。</li> <li>3. 特に負の側面に関する対応について検討する。</li> </ol>
レポート課題 1	<p>教材について残る7章以降のなかから章（複数章も構わない）についてポイントを抽出し、それに関する自己の見解を交えてレポートを作成する  <b>留意点</b>：可能な限り、多くの文献を参照してまとめてほしい</p>
レポート課題 2	<p>課題1の部分で取り上げなかった章（もしくは複数章）で興味ある分野を取り上げ、自己の見解を明確にしつつレポートをまとめてほしい。  <b>留意点</b>：課題1と同様</p>